Japanese Unexamined Utility Model Application Publication No. 62-18812

2. Claim

A magnetic head comprising a contact-sliding surface, which moves relatively to a magnetic tape while contact-sliding on the magnetic tape, wherein curvature radii at both ends of the contact-sliding surface in a width direction of the magnetic tape perpendicular to a direction moving relatively to the magnetic tape are formed smaller than a curvature radius of the contact-sliding surface at the center in the width direction.

Fig. 1

- 1: GAP
- 2: CENTER CORE
- 4: SIDE CORE
- 5: CONTACT-SLIDING SURFACE
- 9: END
- 10: END

⑩ 日本国特許庁(JP) ⑪実用新案出願公開

@ 公開実用新案公報 (U) 昭62-18812

@Int_Cl_1

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和62年(1987)2月4日

G 11 B 5/187

6507-5D

審査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称 磁気ヘッド

> 願 昭60-107779 ②実

❷出 願 昭60(1985)7月15日

東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルプス電気株式会社 **籍** 口

内

金 子 東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルプス電気株式会社 份考 美 実

東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルプス電気株式会社 砂湾 案 者 彰

⑪出 願 人 アルプス電気株式会社 東京都大田区雪谷大塚町1番7号



明 細 書

1. 考案の名称

磁気ヘッド

2. 実用新案登録請求の範囲

磁気テープと摺接しながら磁気テープに対して 相対的に移動する摺接面を有する磁気ヘッドにおいて、磁気テープに対して相対的に移動する方向 に対して直交する磁気ヘッドの幅方向の両端部に おける前記摺接面の曲率半径が、前記幅方向の中 央部における摺接面の曲率半径よりも小さく形成 されていることを特徴とする磁気ヘッド。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、磁気テープとの摺接面の彎曲形状を改良した例えばビデオテープレコーダの映像ヘッドとして使用される磁気ヘッドに関する。

[従来の技術]

例えば、ビデオテープレコーダ用の映像ヘッドは、従来第2図に示すように、磁気テープとの指接面21のヘッド幅方向における曲率半径Rw、

171



すなわち図においてギャップ 2 2 を有するセンタコア 2 3 およびこのセンタコア 2 3 の両端に配設されているサイドコア 2 4 の 3 層構造からなる幅方向の摺接面 2 1 の曲率半径 R いが単一の曲率半径、例えば 3 m m の曲率半径で形成されている。

(考案が解決しようとする問題点)

また、ヘッドの回転シリンダへの取り付け誤差、 ヘッドの前面形状の製作誤差等によりテープ入口 •

側におけるヘッドエッジ部に過大な圧力が加わると、テープおよびヘッドの摩耗が促進されたり、またヘッドの幅方向の圧力分布が不均一となるために摩耗粉等の異物がヘッド前面に付着堆積し、ヘッドの機械的特性および電気的特性を悪化するという問題点がある。

本考案は、上記に鑑みてなされたもので、その 目的とするところは、ヘッドの摺接面における幅 方向の彎曲形状を改良して機械的および電気的特 性を向上した磁気ヘッドを提供することにある。

(問題点を解決するための手段)

本考案の磁気ヘッドは、磁気テープと摺接しながら磁気テープに対して相対的に移動する摺接面を有する磁気ヘッドにおいて、磁気テープに対して相対的に移動する方向に対して直交する磁気ヘッドの幅方向の両端部における前記摺接面の曲率半径が、前記幅方向の中央部における摺接面の曲率半径よりも小さく形成されていることを要旨とする。

(作用)



本考案の磁気ヘッドでは、磁気テープの磁気ヘッドに対する接触圧力分布が均一になり、磁気テープと磁気ギャップ部との接触が安定する。

〔実施例〕

このように構成された磁気ヘッドは、摺接面 5



が磁気テープと摺接しながら、矢印7で示す方向 に磁気テープに対して相対的に移動するようにな っていて、この相対的移動方向に対して直交する ヘッドの幅方向における摺接面5の曲面が異なる 曲率半径を有する3つの曲面で構成されている。 すなわち、摺接面5は、ヘッドの幅方向において センタコア2を含み、各サイドコア3, 4のほぼ 半分程度まで含む中央部8が曲率半径Rucで形成 され、サイドコア3、4の残りのほぼ半分からな る左右の両端部9、10がそれぞれ曲率半径Rws で形成され、中央部 8 の曲率半径 Rwcよりも両端 部9、10の曲率半径Rusの方が小さく形成され ている。例えば、中央部8の曲率半径Rweは3m mであるのに対して、両端部9, 10の曲率半径 Rwsはそれぞれ2mmである。なお、ヘッドの幅 方向に対して直角な方向の指接面5の曲面は曲率 半径R。で形成されている。

このようにヘッドの幅方向の摺接面 5 は、その 両端部 9 , 1 0 の曲率半径 R w s が中央部 8 の曲率 半径 R w c よ り も 小 さ く 形成 さ れ て い る の で 、 磁気



テープがヘッドの摺接面 5 と摺接しながら矢印で示す方向に相対的に移動する場合において、磁気テープがヘッドの摺接面 5 と摺接を開始するテープ入口側におけるヘッドのエッジ部に大きなに、圧力分布が均一化されるようになっている。この結果、ヘッドの摺接面 5 と磁気テープとの接触は安定化し、またヘッドおよびテープの摩耗も低減し、さらに摩耗粉等の異物のヘッド前面への付着が低減するようになっている。

なお、上記実施例においては、センタコア2をサイドコア3,4でサンドイッチ状に挟んだタイプの磁気へッドについて説明したが、本考案はこれに限定されるものでなく、例えばフェライトやセンダスト単体からヘッドの形状に切り出してガラスを流し込んだタイプのバルクタイプヘッドやその他のヘッドにも適用し得るものである。

(考案の効果)

以上説明したように、本考案によれば、磁気へ ッドの幅方向の両端部における摺接面の曲率半径



が幅方向中央部における摺接面の曲率半径よりも小さく形成されているので、磁気テープが該へッドと摺接を開始するテープ入口側におけるへッドのエッジ部に大きな接触圧が作用することが防止され、圧力分布が均一化されているため、磁気テープと磁気へッドのギャップ部との接触は安定化し、ヘッドおよびテープの摩耗を低減するとともに、ヘッドの摺接面に摩耗粉等の異物が付着することも低減され、ヘッドの電気的および機械的特性が向上する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す磁気ヘッドの 斜視図、第2図は従来の磁気ヘッドの斜視図であ る。

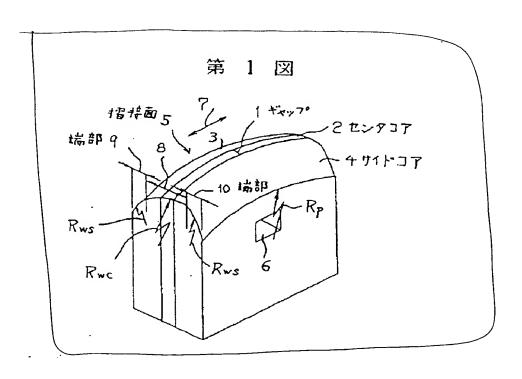
図において、

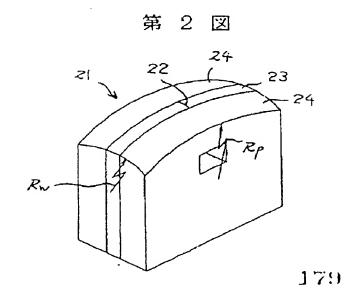
- 1・・・ギャップ、
- 2 ・・・センタコア
- 3, 4・・・サイドコア、
- 5・・・摺接面、
- 8 · · · 中央部、



9,10·・・端部である。

実用新案登録出願人 アルプス電気株式会社 代 表 者 片 岡 勝 太 解





実開係2-18812 「 実用新案登録出願人 アルブス電気株式会社 代 表 者 片 岡 勝 太 郎